

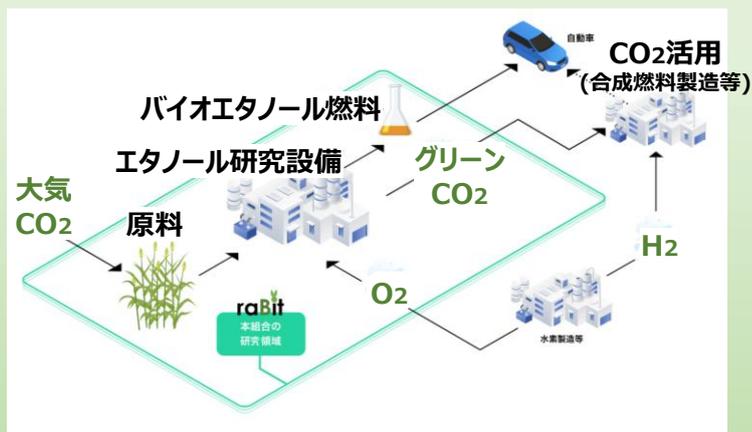
# 次世代グリーンCO<sub>2</sub>燃料技術研究組合

## 理念

バイオ資源の活用、グリーンCO<sub>2</sub>燃料を「つくる」技術のイノベーションで、持続可能なカーボンニュートラル社会の実現に貢献していく。

## 研究概要

カーボンニュートラル社会の実現のため、効率的に自動車用バイオエタノール燃料を製造する技術研究を行います。



## 組合概要

### 次世代グリーンCO<sub>2</sub>燃料技術研究組合【略称：raBit（ラビット）】

Research Association of Biomass Innovation for Next Generation Automobile Fuels

#### 設立年月日

2022年7月1日

#### 理事長

中田浩一（トヨタ自動車株式会社）

#### 本部所在地

福島県双葉郡大熊町大川原字西平294番地5

#### 事業内容

カーボンニュートラル技術の効率向上研究

#### ホームページ

<https://rabit.or.jp/>



#### 組合員

ENEOS株式会社、スズキ株式会社、株式会社SUBARU、ダイハツ工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、豊田通商株式会社、マツダ株式会社（五十音順）

#### 特別賛助員

株式会社アイシン、株式会社デンソー、日鉄エンジニアリング株式会社（五十音順）

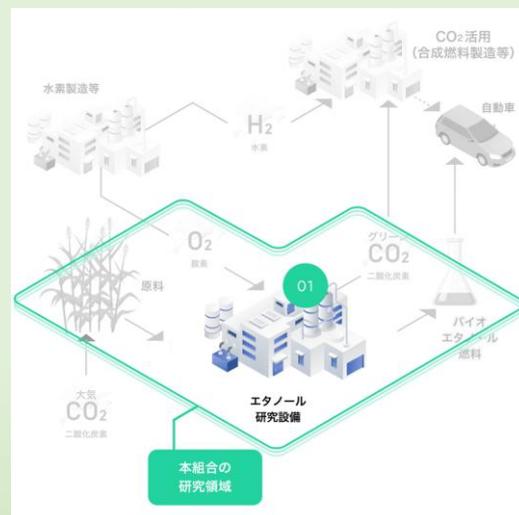
#### 賛助会員

株式会社 大池、共栄株式会社、KPPグループホールディングス株式会社、株式会社 島津製作所、中部電力株式会社、マルヤス工業株式会社、株式会社メルクマール、ヤマハ発動機株式会社（五十音順）

# 研究内容

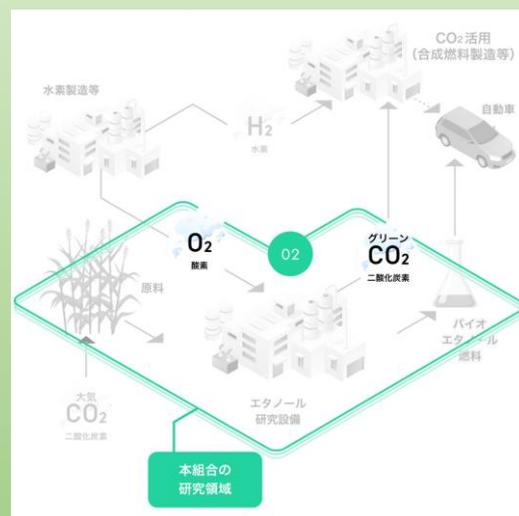
## 01 エタノールの効率的な生産システムの研究

食料と競合しない第2世代バイオエタノール燃料の製造技術の向上を目指し、生産設備を実際に設計・設置・運転し、多様な原料における生産面での課題を明らかにし、解決方法を研究するとともに、生産システムの効率改善を検討します。



## 02 副生酸素とCO2の回収・活用の研究

水素製造時に副生成物として発生する高濃度酸素、および、バイオエタノール燃料製造時に発生するCO2の活用方法について研究します。



## 03 燃料活用を含めたシステム全体の効率的な運用方法の研究

01で得られたバイオエタノール燃料を自動車等に使用した際の課題を明らかにし、解決方法について研究します。また、原料栽培の生産量から製造される燃料量までを予測可能とするモデル式を検討します。

